

| | |
|--------------|---|
| Title | デザイン理論 72号 表紙 |
| Author(s) | |
| Citation | デザイン理論. 2018, 72 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/70558 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

デザイン理論

意匠学会編

2017年度 意匠学会賞選考結果報告
2017年度 意匠学会論文賞選考結果報告

中平康『狂った果実』再考
安部 孝典

外客誘致の宣伝戦略
里見宗次《JAPAN》ポスターの制作背景に関する考察
熊倉 一紗

新商品開発における開発目標の質と設定に至るプロセスとの関係
検証実験および発話解析による分析
畔柳 加奈子 櫛 勝彦

オランダの19世紀から20世紀にかけての漁家・農家住宅の構法について
エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館, オランダ屋外博物館の移築・復元住宅を資料として
佐々木 一泰

蒔絵師・迎田秋悦の制作活動と宮崎タンス店の関係性について
明治末から昭和初期の動向を中心に
下出 茉莉

近代日本のデザインとジェンダー
手作りインテリアの意味をめぐる考察
神野 由紀

クリストファー・ドレッサーの装飾デザインにみる色彩論の展開
竹内 有子

研究発表要旨

書評

欧文要旨

会報83号

72
2018

意匠学会

意匠学会は、1959年の創立以来、広い意味でのデザイン研究の推進にむけて活動している学会です。建築・絵画・彫刻・工芸・音響・映像なども含めて、デザインの歴史、デザインの思想、デザインの実践、そのいずれにも力を入れています。これまで、各種研究会を開催したり、国際会議を主催したりもしてきました。学会員は、研究大会・研究例会・学会雑誌をとおして、研究の質を高めて成果を公表できるだけでなく、異なる分野の研究者とも交流ができます。歴史ある意匠学会は、デザインを文化として成熟させていく活動をさらに重ねてゆきます。

入会のご案内

巻末の「入会申込書」に必要事項をご記入のうえ、封書にて事務局にお送り下さい。そのさい、会員の種別をお選びいただけます。① 正会員：諸芸術を含んだ広義のデザイン研究者または実践者（会費年額8,000円）② 法人会員：法人または団体名において本会の事業に参加する者。当該法人に所属する職員5名以内が、本会主催の諸集会、各種研究会に出席できる（会費1口年15,000円）③ 賛助会員：本会事業に賛同する後援者（会費1口年20,000円）。会員カードには、意匠学会正会員である推薦者をご記入下さい。役員会で承認ののち振込用紙を送付しますので年会費をお納めください。納入日が会員登録日になります。入会費はありません。

研究発表の募集

年に1度の大会での発表時間は、質疑応答を含めて30分から40分です。年に4回おこなわれる研究例会での発表時間はおよそ50分で、懇談会において質疑応答をおこないます。発表を希望される方は、巻末の「研究発表申込書」にご記入のうえ、意匠学会事務局までお申し込みください。意匠学会のホームページからも様式を入手できます。発表日時については役員会にて決定したのちにお知らせします。

申し込み先

意匠学会事務局：京都市立芸術大学 美術研究科 プロダクトデザイン研究室

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

TEL：075-334-2319 FAX：075-334-2321 japansocietyofdesign@gmail.com